

橋に咲く

細かな計算 橋もゴルフも

杉山設計事務所 リーダー

倉掛広美さん



鉄筋、PC鋼材、支承アンカー……。コンクリートの中に入ってしまうと、外観では分からな

い。それをどう配置したら、施工性と耐久性が確保されるか。細かな計算を重ねていくと思う。「橋

は最初の計画が大事」。マネジメントの世界だ。PC橋上部工の新設・補修の設計に携わっている。専用のソフトやエクセルを使いこなし、図面

建設コンサルなどを経て、杉山設計事務所が2008年に創業した時のメンバー。大学では農業土木を専攻し、砂漠の緑化を研究していたので、初めからPC橋設計の専門家だった訳ではない。

出ているので、しっかりと勉強しなくては」 異業種からの転職者が多い同社で今、後輩たちを教える立場でもある。「気持ちは伴走者。指導なんて、とても」。自らも懸命に学んできた経験があるから、同社の杉山宜央社長は「アドバイスの重みが違う。他の社員の模範」と評価する。 休日の楽しみは、勉強会の仲間とのゴルフ。「あそこにクリークが」など、細かな計算を重ねるタイプだ。「コースマネジメントですね」。

セルをいこなし、図面とにらめっこの日々。心掛けていのは、「誠実」だ。「公共の安全・安心に直結するから」。

「メタルは外から見ても構造が分かるが、コンクリートは外と中が違う。劣化対策が課題となり、新しい知見や材料も